

## 協定内容

面積	田	畑	草地	協定参加者
93ha	93ha	—	—	70人
交付金総額 750万円	個人配分 (50%)		375万円	
	共同活動 (50%) 375万円		役員報酬等 24万円	農道・水路管理 124万円
			多面的機能増進活動 (景観作物) —	
		その他 (会合、農業機械取得等) 227万円		

## 小区画の水田

戸沢集落は水田単作地帯にあり、ほ場整備済みの水田は50a～1haに整形されていますが、未整備水田は戦前からの10a～20a程度の小区画のため、作業効率が低く、高齢化も進んできていることから耕作放棄地は年々増加しており、農地の保全が問題となっていました。

## 農地保全のために

交付金は主に農地保全のために必要な溝掘機や整地キャリアなどの農業機械導入に使用しており、耕作放棄に近かった農地に牧草やそばが作付けされるようになりました。

平成9年からほ場整備事業を実施する過程で農地の流動化に取り組んでおり、現在86haの農地が利用集積されています。また、中山間地の特産物であるセリやヤマイモなどの作付けを始めており、今後は需要を開拓し、作付けを拡大していきます。

## 自然学習の場の提供

集落の中には、溜池、川、水路、周辺林地があるので、これらに生息しているこい、ふななどの魚類やカブトムシなどの昆虫類を保護し、子供たちの学習の場として提供できるようにしたいと考えています。



草刈り風景

## 協定代表者の声



鳴海 初男さん (53歳)

中山間地のため周辺には林地が多くなっていますが、交付金を使用してそれらの草刈りには集落全体で取り組んでいます。それにより地域住民の連帯感も強くなってきました。

農業は農産物を生産し、供給するという大切な役割を担っていますが、現在は若い人の農業離れが多く、就農者も高齢化しているため、農作業の共同化を進めていきたいと思っています。